

# 全学教育科目の時間割に関する アンケートで寄せられた 代表的意見およびその回答

各ページについて、緑色で塗られた吹き出しが学生からの代表的な意見、白い吹き出しがそれに対する回答です。

学務審議会企画委員会  
学務審議会教務委員会



## はじめに

5月に実施したアンケートにて、多くのご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただいたご意見については、全学教育科目の時間割やカリキュラムの改善のために活用させていただきます。

また、一部専門科目や履修要件に関するご意見もお寄せいただきましたが、それらは各学部で共有しています。

今後も履修上の不都合点や改善を希望する点が生じた場合には、教務課窓口までお寄せください。

(専門科目に関する点については、各学部教務係に直接お申し出ください。)

なお、後期の履修登録期間終了後、[10月下旬にも同様のアンケートを実施予定です。](#)  
後期の履修状況について、回答のご協力をよろしくお願いいたします。

## (1) 学問論について

- ・学問論の履修時間帯について、3～5講時のうち希望の時間帯に受講できるようにしてほしいです。
- ・学問論が割り当たっていない時間帯に別の授業を履修できるようにしてほしいです。
- ・学問論の時間帯について、講義棟（特に廊下や階段）、食堂、図書館などが混雑して不便です。

・学問論の時間割を各学生の希望を考慮して設定することは、入学手続きから授業開始までの間に希望をとって抽選を行い、クラス分け結果を発表するという作業を行う時間的な余裕がないことと、実施する規模の大きさ、また各学部・学科の学生数に偏りがないように配属する必要があることから、実現については難しい状況です。ご了承くださいるようお願いします。

・空いている時間帯に別の授業を設定すると、たまたまその時間に割り当たらなかった学生だけがその別の授業を履修できるようになってしまい、不公平感が増すのではないかと感じます。**2単位の講義科目の場合は、授業1回あたり4時間の予習・復習を必要**とします。空いている時間帯を他の科目で埋めることによって負担も大きくなりますので、時間割上の空き時間は他科目の**授業時間外学修の時間**としてご活用ください。

・今年度については、前期月曜午後については、自習用にA200番教室を開放しました。業間の廊下や階段の混雑について、講時ごとに使用するフロアを分けるなどして混雑が緩和できないか、来年度に向けて検討を依頼します。

## (2) 曜日ごとの時間割配置について

・ある曜日には必修の科目が集中しているが、一方で別の曜日には履修できる授業がほとんどなく、バランスが悪いので改善いただきたいです。

各科目とも、担当できる先生や講義室の数に限りがあるため、一部の学部・学科においては科目が集中していたり、逆に空き時間が多く発生したりすることはどうしても避けられません。また、1セメ月曜日の午後は学問論しか履修できる科目がありませんが、前のページで述べたように科目設計上動かすのは難しいことをご了承ください。

空き時間が発生した場合には、各科目の課題など授業時間外学修の時間としてご活用願います。1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容で構成されることとなっており、例として**2単位の講義科目の場合は、15回の授業受講に加え、授業1回あたり4時間の予習・復習を必要**とします。この考え方を念頭に、**選択科目を詰め込みすぎない時間割にするよう工夫**してください。

今年度につきましては旧カリキュラムの2年生の時間割を考慮しなければならなかった都合、一部の学部および曜日においてバランスの悪い配置となっていた部分があったことは事実かと思えます。たとえば工学部の機械知能と建築・社会の各学科学生については、来年度から英語I-Aの時間帯が火1から月1に変更となり、火曜日の負担軽減と月曜日の履修授業の拡充が図られる見込みです。

### (3) 人文科学・社会科学科目の配置について

・人文科学および社会科学の各科目群について、開講されている時間帯が少なく、また開講される科目の選択肢も少ないことから、改善してほしいです。

履修単位数が過大とならないように、履修できる時間帯を制限しています。

2年生での他科目との重複を心配されている方も多いかもしれませんが、**令和5年度以降は2年生でも前期・後期とも1年生と同じ時間帯で人文・社会・学際各科目を受講できます。**

具体的には、3セメの火2は全学部で、木2は理系学部で、それぞれ受講可能となります。

**2年生までの間に履修し終える設計**になっているため、希望の科目が履修できない場合には、その時間は別の科目を受講し、希望の科目を次セメスター以降で履修するなど、工夫してください。

今年度は一部の時間帯で開講される科目が少ない状況にありましたが、上述のように開講される時間帯を共通化することで、より多様な科目を1・2年生が同時に履修できるようになる見込みです。

一部の科目については少ない人数で受講制限をかけていたため、希望の授業を受講できなかった例があったと聞きます。次年度に向けては、なるべく150名以下の人数制限を行わないように、授業担当の先生方をお願いしていきます。

それでも、今年度は300名以上の登録があった科目もあります。想定人数を大幅に超過した場合には、抽選を行うなどする場合がありますが、あらかじめご承知おきください。

## (参考)人文・社会・学際の各科目群開講時間帯・対象学部一覧

### <前期火曜2講時>

・1セメ:文・教育・理の各学部、工学部6～14組      3セメ:全学部

### <前期木曜2講時>

・1セメ:法・経済・薬・農の各学部、医学部医学科、工学部1～5,15,16組      3セメ:理系学部

### <後期火曜2講時>

・2セメ:文系学部、工・農の各学部      4セメ:工・農の各学部、理学部地球科学系

### <後期水曜1講時>

・2セメ:文・教育・医・歯・農の各学部、工学部1～5,13～16組      4セメ:医・歯・薬の各学部

### <後期金曜1講時>

・2セメ:法・経済・理・歯・薬の各学部、医学部保健学科、工学部6～12組

緑色で示した学部・学科は、当該時間帯は人文・社会のみ履修可能です(学際は履修不可)。

上記の時間帯には、他の必修科目や専門科目が入らないよう調整しています。

万一専門科目が重複した場合の対応については、各学部教務係にご確認ください。

## (4) 抽選について

- ・（特に国際教育科目を中心に）抽選に外れてしまい、履修したい授業を履修できませんでした。

国際共修の科目については、教育効果に合わせた開講形態や留学生数とのバランスを考慮する必要があります。水際対策緩和の遅れで、R4年度前期は留学生の受講者が十分確保できず、日本人学生の履修がある程度制限されてしまう例もあったようです。ご理解願います。

同じ科目群の中でも一部の科目に過度に希望者が集中した結果、抽選が生じた科目もあったようです。より履修希望が多かった時間帯に開講時間を変更できないかどうか検討するとともに、定員を設ける場合はシラバスや授業実施方法一覧表に記載いただくよう教員に依頼を続けてまいります。

## (5) 教職に関する科目について

・教職に関する科目の開講時間帯が、必修科目や専門科目と重複していて履修できません（キャンパス間移動も含む）。

全学教育で開講している教職に関する科目については、集中講義も含めてすべての学部が履修できるように設定しています。移動も含め、履修に困難が生じるようでしたら集中講義での履修をご検討ください。

なお、取得を希望する免許状の種類によっては、他学部で開講している科目を修得しなければならない場合があります。その場合は、開講学部の都合もあると思いますので、ご自身が所属する学部の教務係に、卒業までに無理なく履修できるスケジュールをご相談ください。